森への誘い

２０１３年　７月

夏号

渡島総合振興局東部森林室
〒○四○—○○○二
函館市柳町一四—二四
TEL ○一三八・五一・四六一一
FAX ○一三八・五六・六七一九
email hakomori.11@pref.hokkaido.lg.jp

「森への誘い講座」

平成二十五年度は、二十九名の講座生の皆様と一緒に森林とふれあい、自然と大切さなどについて学んでいくことになりました。

今年度の講座の方は、予定では第三回まで終了のはずでしたが、六月十九日（水）に予定されていた第三回の「横津岳登山」が残念ながら天候の状況により九月十九日（木）に延期となりました。春の高山植物も良いですが、秋の高山植物もまた格別かと思います。

今回は、第一回と第二回の講座の様子についてご紹介します。

【第一回】四月二十四日

今回の講座は、〝開講式〟〝講義「森林の公益的機能」ほか〟〝椎茸の植菌体験〟です。

場所は、東部森林室会議室と車庫の中で行われました。

参加者は、講座生二十七名（二名の方は都合により欠席でした）。函館サンモリッツくらぶ八名、東部森林室四名です。

挨拶される石井室長と葛岡会長（右）

開講にあたって、石井室長の挨拶の中で森への誘い講座が実施されたいきさつや森林セラピー、北海道生まれの新しいことばである木育などについて触れられていました。

最後に、「講座のメニユーには登山や下草刈りなどの作業も体験していただきます。体調を十分整えて怪我の無いよう気をつけて楽しんでいただければと思っています。」と挨拶がありました。

概要説明

講座の様子

また、共催の函館サンモリッツくらぶの葛岡会長からは、「会員には植物や樹木のことに詳しい人がいますので一年間一緒に活動しましょう。」と挨拶がありました。

佐藤主幹からスタッフ紹介があり、講座の説明に入りました。

最初に、主幹から東部森林室の組織や事業のあらましなどについて説明がありました。

前川副主幹からは、スライドを使って森に関わるクイズや森林のはたらきについて説明がありました。

午後からの〝椎茸の植菌体験〟では、前川副主幹からキノコの作り方について、ほだ木となる原木はミズナラやコナラなどの広葉樹が適していることや植菌後は湿度が低いとほだ木が乾いて菌糸の成長が悪くなり、高いと害菌に侵されやすくなるので七十パーセント前後が望ましいと説明がありました。

前川副主幹による概要説明

作業指導はくらぶの石原さん

引き続き、サンモリッツくらぶの会員の石原さんからは、電動ドリルの使用上の注意やほだ木の中心に真っ直ぐに孔をあけること、また、種駒を打ち込むときはほだ木の面と平らになるようにと説明がありました。

早速、講座生は、三班に分かれて一人二本を目途に電動ドリルを使用して孔をあけ、種駒を植え込みました。

植え込みが終わったほだ木は、森林室庁舎裏の木陰のところに立て掛け、ムシロを被せて仮伏せの終了です。

講座終了後、昨年の講座生が植菌したほだ木が今年の講座生に配付されました。今年の秋には、椎茸が収穫されることでしょう。

【第二回】五月二十二日

今回の講座は、『森を守り、育てる』ことをテーマに、「カミネッコンによる植樹」、「枝打ち」、「治山施設の見学」を実施しました。

場所は、函館市紅葉山町の道有林で矢別ダムの近くにある「みらいの森」、函館市川汲町にある「治山環境の森」です。

クラブの会員と一緒に

仮伏せ

電動ドリルによる孔あけ

参加者は、講座生二十七名（今回も、二名の方は都合により欠席でした。）函館サンモリッツくらぶ九名、東部森林室三名です。

大型バスで東部森林室前を九時十五分頃に出発し、現地に向かいました。旧矢別ダム管理事務所前の道道沿いでバスを降り作業道を歩いて森林散策し、植樹と枝打ちの場所まで行きました。

植樹

枝打ち

森林散策

カミネッコンによる植樹を四十本と三十年ほど経ったアカエゾマツの枝打ちを行いました。枝打ちは、木の枝を切り落とし節のない良質な材をつくる作業です。

「治山環境の森」では、前川副主幹から保安林である山の崩壊や土石流から住民の生命を守るため治山事業が必要であることの説明がありました。

治山環境の森

治山施設を見学

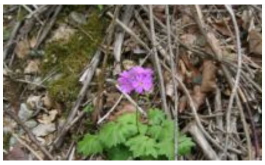
また、木道前の河原では、ニホンザリガニ探しを行い、二十匹程見つけることができました。講座生の皆さんは、昔を懐かしんでいました。

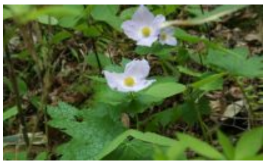
記念に写真を

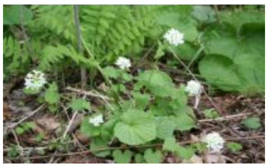
ニホンザリガニ

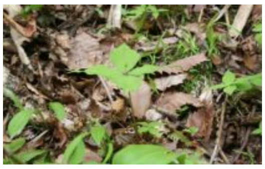
木道の前の河川でザリガニ探し

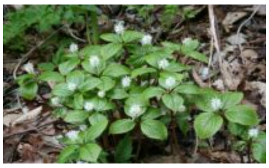
【「治山環境の森」までの道路脇で見ることができた草花】

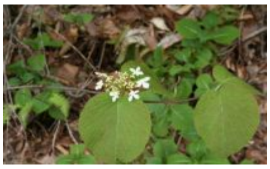

オオサクラソウ


シラネアオイ


ワサビ


ツクバネソウ


ヒトリシズカ


オオカメノキ

「子どもたちの森林学習の推進」

五月十日　函館市立亀尾小中学校森林環境学習

函館市立亀尾小中学校の児童生徒を対象として、森林散策等の体験を実施しました。

小学校が二十八名、中学生三十一名が参加しました。付き添いの先生は、十名です。

今回の学習は、一年生から四年生までの十五名と小学校五年生から中学三年生までの三十一名の班に分かれて行われました。

東部森林室からは、講師として佐藤主幹、前川副主幹、福田主査、江良主任が参加しました。

また、森林ボランティア団体の「函館サンモリッツくらぶ」からは、石原さん、中川さん、高田さん、五十刈さんの四人の方も参加され、森林環境学習のお手伝いをしていただきました。

一年生から四年生までは、ネイチャーゲーム（カモフラージュ）や森林散策（森のはたらきや水辺の生き物の様子、鳥の巣箱）、森のクイズを行いました。

五年生・六年生、中学生は森林散策のほかカミネッコンを利用した植樹を体験しました。苗木は、ミズナラで一人一本植えました。

佐藤主幹挨拶

木の説明をする江良主任

カモフラージュ

植樹の指導

植樹完了

「植樹祭」

五月二日　鹿部中学校一年生による記念植樹

鹿部町教育委員会主催による鹿部中学校一年生を対象にした記念植樹が行われました。

場所は、鹿部町字鹿部の町有林で生徒二十八名、教師三名が参加しました。

鹿部町役場と教育委員会からそれぞれ二名の職員の方が出席していました。

東部森林室から植樹指導のため三名が参加し、佐藤主幹からは「ただ木を植えるだけでなく、仲間意識を深め友達と一緒に思い出を作ってください。」と挨拶がありました。

引き続き、前川副主幹から根鉢付きの大苗（樹種：クルミ、苗長：二〜三メートル）の植樹の方法や注意事項などについて指導がありました。

指導を受けた後、生徒達は五班に分かれて残り九本のクルミを植えました。

最後に、生徒を代表してお礼の挨拶があり、また教頭先生の挨拶で記念植樹が終了しました。

挨拶する佐藤主幹

指導する前川副主幹

五月十六日　函館市第六十四回植樹祭式典

函館市上湯川町にある市民の森において開催されました。

渡島総合振興局からは石井東部森林室長が出席され、来賓者として挨拶されました。

式典終了後、記念植樹・記念撮影が行われました。

来賓挨拶する石井室長

記念撮影

参加者は七十名でサクラ五本、サツキツツジ四十本の苗木が植えられました。

最後に、記念撮影をして式典が終了しました。

五月十九日　北斗市市民植樹祭

北斗市のきじひき高原において市民植樹祭が行われました。

高谷北斗市長から主催者挨拶があり、その後ブナ五百本、ミズナラ五百本の苗木が植えられました。約二百名の市民の方が参加されました。

植樹祭標柱設置

家族で植樹

五月二十五日　八雲町植樹祭

八雲町春日地区町有林において、植樹祭が行われました。

川代八雲町長から主催者挨拶があり、参加者約百二十名の方が参加され、ミズ

平成二十五年度　八雲町植樹祭
植樹祭
八雲町植樹祭

ナラの苗木千五百九十本が植えられました。

　植樹後、標柱を設置し記念写真を撮りました。

「木育イベント」

五月五日　はこだてくうこうキッズイベント（主催：函館空港ビルデング株式会社）

　五月五日十時から十五時まで函館空港の二階イベント会場・空港ギャラリーにおいて、『はこだてくうこうキッズイベント』が行われました。

　主催は、函館空港ビルデング株式会社です。協力団体は、渡島総合振興局東部森林室、株式会社ハルキが、後援は函館空港利用者利便向上協議会となっています。

　イベントには、木育マイスターの鈴木正樹氏（株式会社ハルキ）による木育コーナーや木製遊具（木の砂場・道南杉木育ブロック『モック』）のコーナーが設けられました。

　木育コーナーでは、木育マイスターの鈴木正樹氏（株式会社ハルキ）や戸巻朋子氏（認定こども園どんぐり）の指導を受け、〃木のヒコーキ〃や〃木のマグネット〃づくりを行いました。東部森林室からは、佐藤主幹ほか三名の職員が参加しました。

　また、東部森林室では、イベント参加者に〃しいたけのほだ木〃（椎茸菌が植え込んであるもの。長さ三十センチメートル程度）を先着三十名の方に無料配付しました。

“めもりー”と子供達

マイスターの鈴木さん(右)

木の砂場で遊ぶ子供達

椎茸のほだ木の配付

六月二十二日～二十三日　はこだて花と緑のフェスティバル（主催：はこだて花と緑フェスティバル実行委員会）

　「はこだて花と緑のフェスティバル」は、JR函館駅西口横の旧クイーンズポートはこだて前広場において開催されました。

　開催期間は、二十二日から二十三日までの二日間です。

　二十二日は、曇り空でした。当日のスタッフは、東部森林室三名、函館サンモリッツくらぶ八名、他にボランティアの方三名です。

　二十三日は好天に恵まれました。当日のスタッフは、東部森林室三名、函館サンモリッツくらぶ九名、他にボランティアの方二名です。

　東部森林室では、三年ぶりに〃丸太切り体験〃のコーナーを設けました。二日間で延べ百人ほどの参加がありました。子どもからお年寄りまで一生懸命枝打ち用の腰鋸で木を切っていました。

　函館サンモリッツくらぶは、お絵描きコースターと椎茸ほだ木の販売を行いました。絵描きコースターには、三百人程の参加がありました。

丸太切り体験

コースターにお絵描き

五月十日「緑の募金」街頭募金の呼び掛け

　十一時から丸井今井デパート前（函館市本町）において、緑の街頭募金の呼びかけをしました。（主催は函館市住宅都市施設公社です。）

　渡島総合振興局からは東部森林室の石井室長、田村次長が参加し、道行く市民の皆様に募金をお願いしました。

募金者に緑の羽根を付ける石井室長

あとがき

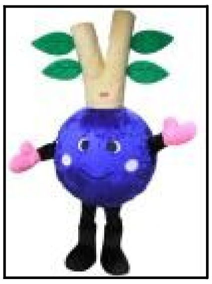
　四月から〃木育推進〃という名称で進めて、三ヶ月が過ぎました。はこだてくうこうキッズイベントに参加し、子供達が木の良さを実感する場に接することができました。

　子供達には、各地の植樹祭にも参加し、苗木を植え、木を育てることの大切さをもっと学んでほしいと思います。

　木育推進スタッフとしても、道民との協働の森づくりを一層充実したものに取り組んでいきたいと考えています。

　また、毎回、森林に係るボランティア団体の皆様に情報誌「森への誘い」への寄稿をお願いしています。活動内容を多くの方々に発信していきたいと思っていますので、原稿の提供をよろしくお願いします。

　なお、原稿につきましては、左記のアドレスまでメールにてお願いします。（郵送も可能です。）

担当　：管理課 福田
メールアドレス　：hakomori.11@pref.hokkaido.lg.jp